

令和7年度 調布市立多摩川小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
◎思いやりのある子【(徳) 人間関係形成力】自他尊重、人権尊重の精神、相互理解の推進 ○自分の考えをもつ子【(知) 自己決定力】思考力・判断力・表現力・学びに向かう力の向上 ○体をきたえる子【(体) 実践力】体力・健康の保持増進	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
★子どもたちと教職員の共通テーマ★ 一人一人の命が輝き、笑顔で満たされている学校をつくる ●児童が、互いに支え合い、違いを認め合い、できた・分かった・高まったと実感できる学校 ●保護者・地域住民の方々が、安心して子どもを通わせ、参画したいと思える学校 ●教職員が、児童理解に基づき、組織の中で自分の強みを生かし、役割を果たしていこうとする学校	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	調布市教育委員会が掲げる教育目標を達成するために、本校の教育目標をもとに現状を捉えると、子どもたちが自分の学びに自信をもち、心を豊かにしながら成長するためには保護者・地域住民、教職員が一体となり子どもたちの成長を支えることが最も必要であるため。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	○自分で情報を読み取り、そこから自分の考えを発信したり、行動したりする力 ○自分の気持ちや考えを言葉にするとともに友達の気持ちや考えを聞き、そこから考える力 ○すすんで読書に取り組み、自分の知識や世界を広げる、自ら学ぶ力	・課題を自己決定し、情報の収集、情報の取捨選択、まとめ方などの学習を行う。 ・気持ちを文章や言葉にする取組をする。 ・物語や友達の行動や話から気持ちや考えを読み取り、自分の考えに生かす活動を行う。 ・図書の授業を設定し、本に触れる機会や学校司書と連携した授業を行う。
社会	○資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめることができる知識・技能 ○社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力 ○よりよい社会を考え、協働して課題を考えたり深めたりする態度	・児童の考えから自己決定による課題の設定を行い、自分の考えをもって調べ、協働的な学習により自らの考えを深化させる。 ・教科書等の資料から見方・読み取り方の基本を指導するとともに、一人1台モバイル端末を効果的に活用して多様な資料に触れさせる。 ・複数の資料の内容を比較し関連付けて読み取らせる。 ・見学等の体験活動を通して自分の生活との結び付きを気付かせることで、社会生活に生かそうという視点をもたせる。
算数	○基礎的・基本的な概念や性質などを理解して、数理的に表現・処理できる技能 ○既習の内容と結び付け、見通しをもち筋道を立てて統合的・発展的に考察する力 ○簡潔・明瞭・的確に表したり、目的に応じて柔軟に表現したりする力 ○よりよいものを求め、多面的・多角的に検討しようとする態度 ○数学のよさに気付き、すすんで活用しようとする態度	・具体物や半具体物を用いたり、用具を使って作図したりする学習活動を取り入れ、数的、量的感覚を身に付けさせる。 ・条件を整理し、テープ図や数直線等を用いて正確に課題を把握させ、既習事項と結び付け、課題解決できるように指導する。 ・個々のつまづきに応じた箇所まで立ち戻った学習をモバイル端末等の活用で繰り返し行い、基礎基本の定着を図る。 ・自分の考えを表現したり、互いの考えを理解したりする協働的な学びを通して、新たな解決法に気付いたり、よりよい解決方法を見いだしたりできるようにする。
理科	○科学的に問題解決を行うために必要な観察・実験等の基本的な技能 ○見通しをもって観察や実験等を行い、主体的に問題を解決する力 ○自然に親しみ、生命を尊重する態度 ○知識・技能を実際の自然事象や日常生活などに適用しようとする態度	・児童が主体的に考える活動を取り入れたり、児童が自ら課題を設定し、予想を立てて確かめたりするなどして、観察・実験の力が身に付くように指導する。 ・一人1台モバイル端末を効果的に活用して、観察や実験の結果や考察について、図表やグラフ、絵で表したりして記録し、友達と比較したり話し合ったりする活動を行う。
生活	○自分自身、身近な人々、周りの物事の特徴やよさ、それらのかかわり等に気付く力 ○生活上必要な習慣や技能の習得 ○学んだことについて考え、一人一人に合った方法で表現する力 ○すすんで学んだり、友達と協力して学んだりし、生活を豊かにしようとする態度	・学習していく中で自ら感じた疑問から課題解決型の授業を計画し、自ら気付いたことや感じたことをモバイル端末等を効果的に活用し、交流できるようにする。 ・自然の面白さや不思議さに対する気付きが生まれる活動を充実させる。 ・植物の育て方や昆虫の捕り方を図鑑や一人1台モバイル端末を活用して自分から調べたり考えたりさせる。実際に植物や昆虫に触れ合う体験を多く取り入れる。

音楽	○曲想と構造の関わり合いに気付いたり、音楽表現を楽しんだりするために必要な技能 ○表現に思いや意図をもち、工夫する力 ○曲のよさを見いだし、味わって聴く力 ○楽しく音楽に関わり、身の回りの音楽に親しみ、自ら工夫して、生活を潤いのあるものにしようとする力	・実技活動の中で、楽典を確認し、常時活動の中で基礎技能を積み重ねる。 ・一人1台モバイル端末を活用して、互いの演奏のよさや工夫した点を伝え合う活動を取り入れる。 ・鑑賞の学習の中で、音楽を形づくっている要素を聴き取り、それが生み出すよさを話し合い、すすんで自分たちの演奏に取り入れる活動を行う。 ・地域や世界の音楽を聴き、親しみをもてるようにする。
図画工作	○体験を通して知識と創造的な技能を獲得する力、既習事項を活用して工夫する力 ○素材との関わりや、表現方法、活動場所、主題などから自分の思いをもち、感性を働かせながら思考、判断、表現する力 ○表現や鑑賞を通してつくり出す喜びを味わい、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度、豊かな情操	・手や体を動かして試行錯誤する場面を十分に設定することで一人一人が感性を働かせ、体験を通して知識や技能を獲得できるようにする。 ・基礎基本を発達段階に応じて培う学習と自分の思いに合わせて材料や方法や主題を選んで表現する活動を行う。 ・個別最適な学びと協働的な学びを深められるように、一人1台モバイル端末を効果的に活用して構想を練ったり鑑賞したりする活動を取り入れる。
家庭	○日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解と技能 ○日常生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決方法を考えて表現するなどの、課題を解決する力 ○家族の一員として生活をよりよくしようとする工夫する実践的な態度	・一人1台モバイル端末を活用して、繰り返し学習内容が確認できるようにする。また、技能習得に個人差があるため、ペアやグループ学習を取り入れるなど、学習形態を工夫する。 ・実生活の中からより良くするための課題を見付け、問題解決型学習を通して、興味や関心に応じた多様な学習機会につなげていけるようにする。 ・友達の思いや考えを聞いたり、自分の考えを分かりやすく伝えたりする協働的な学びを通して、生活課題について生活経験から様々な解決方法を考えられるようにする。
体育	○各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解 ○基本的な動きや技能 ○運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力 ○運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を育む態度 ○健康で健全な食生活に関する知識や技能	・友達同士で動きを見合ったり、タブレット端末を活用して動画や写真で自分の動きを客観的に振り返ったりしながら学び方を工夫して、体の動きを高める。 ・体力向上のため、体育委員会などを中心に、授業以外の日常生活で運動の機会を設定する。 ・課題の解決がわからない児童には、スモールステップの手立てを与えたり、ペアやグループの編成を工夫したりする。 ・保健の学習で学んだことを生活の中で生かし、振り返ることができるようにする。 ・食物アレルギー対応を徹底した安心・安全の給食を提供し、給食レターを通して、児童の「食」への関心を高める。
外国語	○日本語と外国語との違いを理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能 ○コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力 ○外国語の背景にある文化を理解し、他者に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする力	・活動の切り替え時にはデジタル教材のチャンツを流し、英語に触れる時間を多くする。 ・「読む」時には、スモールステップで行文字と音を合わせるようにする。「書く」時には、全員が同じ時間で終われるようにリズムをとって指導する。各単元終わりにはスピーチを行う。 ・モデルを示す、練習する、気持ちや考えを伝えることを意識した授業をし、英語で自己表現する言語活動を毎時間行う。
道徳科	○自分の納得解や最適解を見付け出そうとする姿勢 ○登場人物の気持ちに自我関与しながら考える力 ○友達の意見と自分の考えを比べながら考える態度	・一人1台モバイル端末を活用するなど、児童の考えを見える化することで、友達の意見と自分の意見とを比べやすいようにする。 ・「主体的に考え、議論する道徳」を通して、子どもが自ら価値について気付いたり、深めたりする授業を展開する。 ・「道徳教育全体計画」「道徳科の年間指導計画」を効果的に活用し、評価及び改善を行う。
外国語活動	○日本と外国の言語や文化について理解する力 ○英語で表現したり、伝え合ったりする表現力	・活動の切り替え時にはデジタル教材のチャンツを流し、英語に触れる時間を多くする。音声教材、映像教材を使用してより外国語に親しみをもてるようにする。 ・モデルを示す、練習する、気持ちや考えを伝えることを意識した授業をし、英語で自己表現する言語活動を毎時間行う。